

平成29年度横浜市史資料室 展示会

昭和横浜の構想図・完成予想図

—過去に描いたヨコハマの未来—



横浜ベイブリッジがある横浜港の模型写真 昭和48年4月 広報課写真資料

横浜市は、関東大地震による震災からの復興、第二次世界大戦による戦災からの復興、昭和30年代以降の郊外部開発や都心部再開発など、それぞれの時代に様々な街や建造物が造られてきています。このような新たなものが構想され計画されていくときには、そのイメージを形にした構想図や完成予想図が作成されています。

これらには、まだ「夢」の段階で描かれるもの、計画を打ち出すためのもの、計画を実行に移す段階のものなど、さまざまな段階の構想図・完成予想図が存在しています。

この展示では、昭和期の横浜市における街づくりや施設建設などにおいて作成された、さまざまなレベルの構想図や完成予想図から、それぞれの時代における少し先の横浜を見ていきます。

※開催中の横浜開港資料館「横浜・地図にない場所—消えたものから見えてくる、ハマの近代—」(~7月17日)・横浜都市発展記念館「ようこそ!横浜地図ワールドへ—まちの移りかわりが見えてくる」(~7月2日)との地図に関する連携展示です。



1 会期／時間／会場

会期：平成29年7月15日(土)~9月10日(日)

休館日：7月18日(火)、8月21日(月)

時間：午前9時30分~午後5時

入場料：無料

会場：横浜市中央図書館地下1階ホール前ホワイエ 横浜市史資料室展示コーナー

所在地：横浜市西区老松町1番地

京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩5分、JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分
市営バス停「野毛坂」下車1分(103系統)、「中央図書館」下車1分(89系統)

2 主催／協力／企画運営

主催：横浜市史資料室

協力：横浜開港資料館・横浜都市発展記念館・横浜市中央図書館

企画運営：(公財)横浜市ふるさと歴史財団 近現代歴史資料課 市史資料室担当

裏面あり

3 内容／構成

1. 震災復興から幻の万博まで
2. 戦災からの復興
3. 開港 100 年と市庁舎
 - ・ 開港百年祭
 - ・ 市庁舎建設
4. 市街地再開発
 - ・ 桜木町駅周辺・野毛地区再開発
 - ・ 派大岡川沿いの開発
 - ・ 横浜駅前(東口)開発
 - ・ 昭和 40 年代以降の開発
5. 鉄道駅前の開発
6. 六大事業
7. 諸施設



庁舎模型D案 昭和 31 年 11 月 広報課写真資料

4 見どころ

横浜市では、接收のために戦災復興が昭和 20 年代後半以降となったために、高度経済成長期には、戦災復興が終わらない中で、人口急増やそれに伴う自動車の急激な増加など、都市整備の遅れに伴う都市問題が発生してきます。特に昭和 30 年代後半以降、これらに対応するために市街地再開発計画や郊外部開発計画が多く立案されています。これらの計画では、都市不燃化・自動車等の交通対策・土地の高度利用などを踏まえた「理想的」な計画が立案され、提案の際にたくさんの構想図・完成予想図が作成されています。

この時代のこれらの図が展示の中心となります。

5. 関連事業

◎講演会

- ◆「都市ヨコハマの未来像～震災復興からみなとみらいまで～」

講師：青木祐介(横浜都市発展記念館主任調査研究員)

- ◆「完成予想図でみる横浜駅東口開発-昭和 30 年代-」

講師：百瀬敏夫(横浜市史資料室調査研究員)

開催日時：8 月 26 日(土)午後 1 時 30 分～4 時 (開場：午後 1 時)

会場：横浜市中央図書館地下 1 階ホール

定員：160 人(当日先着順—事前申し込みは不要です)

参加費：無料

主催：横浜市史資料室

協力：横浜都市発展記念館・横浜市中央図書館

講演会で手話通訳を希望される場合は 8 月 18 日までに横浜市史資料室に御連絡ください。

Tel : 045-251-3260 Fax : 045-251-7321 eメール：so-sisiriyou@city.yokohama.jp

* 現場取材される場合は、事前に下記まで御連絡ください。

横浜市史資料室担当係長 長島 Tel : 045-251-3260

お問合せ先

総務局行政・情報マネジメント課 文書管理担当課長 曾根和久 Tel : 045-307-0304